

中国・四国ブロックのエイズ発生動向の概要

1 HIV 感染者・AIDS 患者の報告数

平成28年に報告された全国のHIV感染者数は1,011件（前年1,006件）、AIDS患者数は、437件（前年428件）、両者を合わせた新規報告件数は1,448件（前年1,434件）であった。

中国・四国ブロック内のHIV感染者数は52件（前年47件）、AIDS患者数は18件（前年37件）、両者を合わせた新規報告件数は70件（前年84件）であった（図1、図2）。

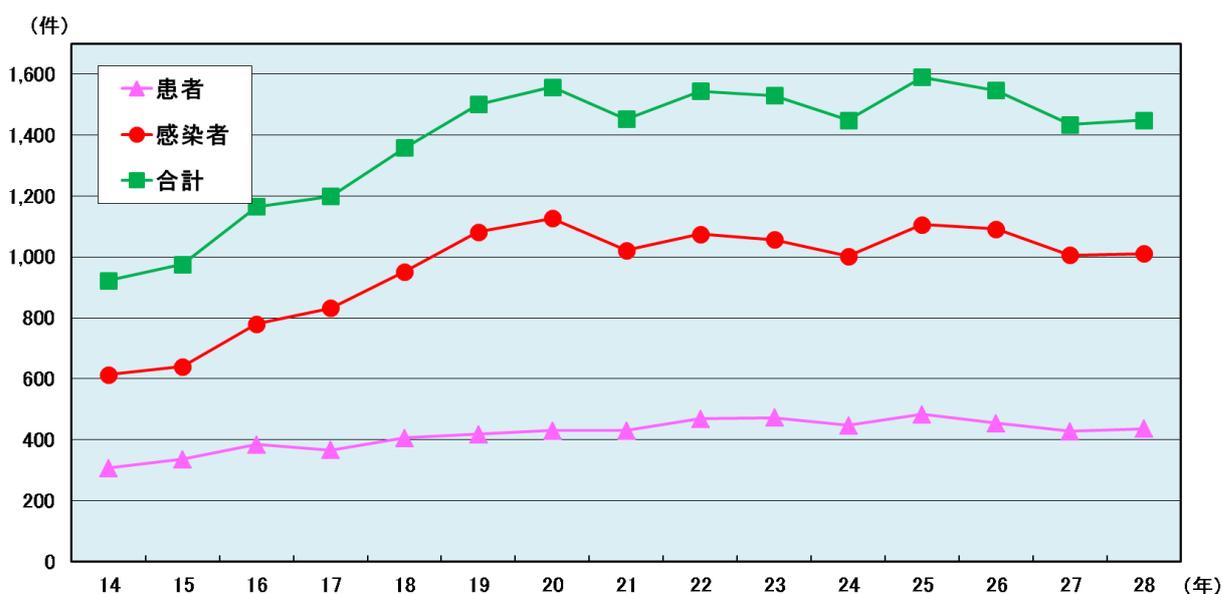


図1 全国のHIV感染者・AIDS患者の報告数

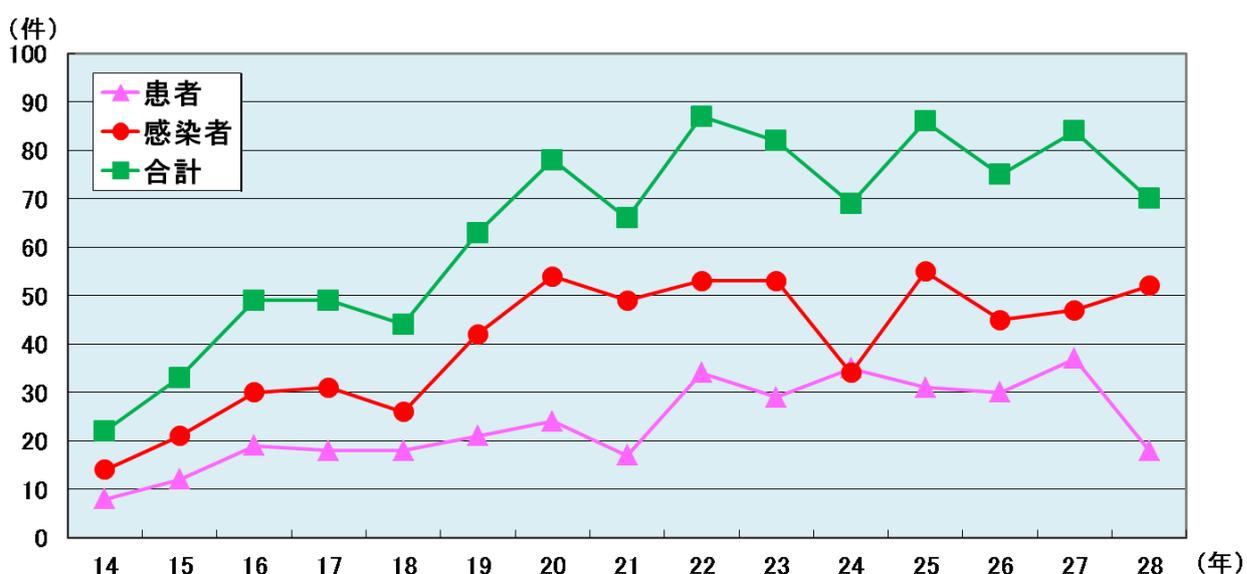


図2 中国・四国ブロックのHIV感染者・AIDS患者の報告数

2 全国の HIV 感染者・AIDS 患者の感染経路別内訳（平成 28 年）

(1) HIV 感染者について

全国で平成 28 年に報告された HIV 感染者の感染経路は、異性間の性的接触が 170 件(16.8%)、同性間の性的接触が 735 件(72.7%)で、性的接触による感染は合わせて 905 件(89.5%)を占めた（図 3）。

また、静注薬物使用が 1 件、母子感染の報告はなかった。

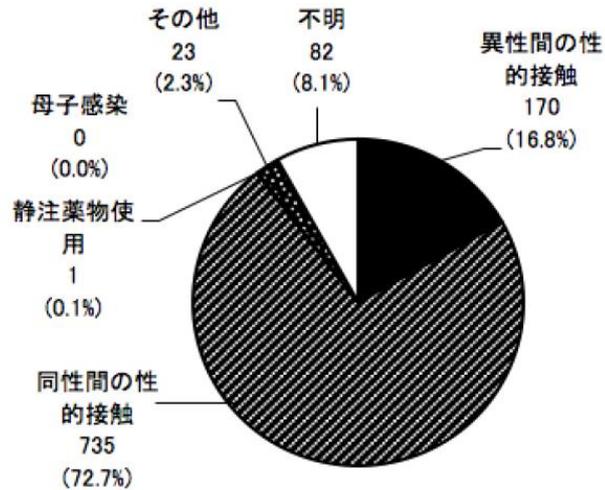


図 3 全国の HIV 感染者の感染経路別内訳(平成 28 年全国報告例)

(2) AIDS 患者について

全国で平成 28 年に報告された AIDS 患者の感染経路は、異性間の性的接触による感染が 114 件(26.1%)、同性間の性的接触による感染が 241 件(55.1%)で、性的接触による感染は合わせて 355 件(81.2%)を占めた（図 4）。

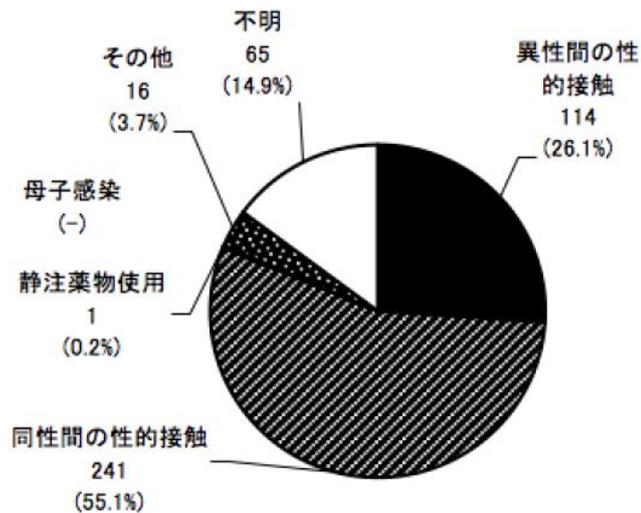


図 4 全国の AIDS 患者の感染経路別内訳(平成 28 年全国報告例)

3 中国・四国ブロックの都道府県別の報告数について（平成 28 年）

全国のHIV感染者・AIDS患者報告数の上位都道府県をみると（表1，表2），人口10万人当たりのHIV感染者数で徳島県が8位，高知県が10位となっている。

また人口10万人当たりのAIDS患者報告数で高知県が4位，愛媛県が8位となっている。

なお，中国・四国ブロック各県のHIV感染者・AIDS患者の人口10万対の累積報告数は，表3のとおりである。

HIV感染者・AIDS患者報告数上位10位の自治体

表1 HIV感染者上位自治体

	自治体	報告数		自治体	人口10万対
1	東京都	370	1	東京都	2.716
2	大阪府	140	2	大阪府	1.585
3	愛知県	70	3	沖縄県	1.181
4	神奈川県	57	4	岐阜県	0.989
5	福岡県	46	5	愛知県	0.932
6	千葉県	31	6	福岡県	0.901
7	埼玉県	25	7	山梨県	0.843
8	北海道	23	8	徳島県	0.800
9	岐阜県	20	9	熊本県	0.789
9	兵庫県	20	10	高知県	0.693

表2 AIDS患者上位自治体

	自治体	報告数		自治体	人口10万対
1	東京都	97	1	福岡県	0.901
2	大阪府	48	2	佐賀県	0.725
3	福岡県	46	3	東京都	0.712
4	愛知県	32	4	高知県	0.555
5	神奈川県	26	5	大阪府	0.543
6	北海道	19	6	群馬県	0.458
6	千葉県	19	7	愛知県	0.426
8	埼玉県	15	8	愛媛県	0.364
8	兵庫県	15	9	北海道	0.355
10	群馬県	9	10	沖縄県	0.347

表3 中国・四国ブロックの人口10万対の累積報告数

	HIV感染者	AIDS患者
鳥取県	2.632	2.982
島根県	2.754	1.159
岡山県	7.520	3.969
広島県	7.896	3.983
山口県	4.591	1.578
徳島県	5.467	2.933
香川県	6.276	4.835
愛媛県	5.673	4.291
高知県	5.548	3.883
中国・四国ブロック	6.112	3.493
全国	14.906	6.715

4 HIV 抗体検査及び相談

平成 28 年の中国・四国ブロックにおける HIV 抗体検査件数は 6,902 件（前年 7,905 件）と減少し、相談件数も 8,582 件（前年 10,150 件）と減少した（図 5）。

また、平成 29 年第 1～3 四半期における HIV 抗体検査件数は 4,537 件（前年同時期 4,891 件）、相談件数は 6,086 件（前年同時期 6,429 件）と、いずれも前年同時期と比較し減少している（表 4、表 5）。

これらのことから、保健所等における無料・匿名の HIV 抗体検査及び相談の推進や普及啓発活動等、一層の取組が必要である。

(件)



図 5 中国・四国ブロックの HIV 抗体検査・相談件数の年次推移

表 4 中国・四国ブロック保健所等における HIV 抗体検査件数

	H28 第 1～3 四半期	H29 第 1～3 四半期
鳥取県	420	357
島根県	201	199
岡山県	690	642
広島県	1,319	1,296
山口県	541	528
徳島県	501	434
香川県	221	200
愛媛県	722	664
高知県	255	217
計	4,870	4,537

表 5 中国・四国ブロック保健所等における相談件数

	H28 第 1～3 四半期	H29 第 1～3 四半期
鳥取県	20	29
島根県	38	36
岡山県	1,237	1,295
広島県	2,781	2,679
山口県	377	329
徳島県	640	578
香川県	262	137
愛媛県	870	976
高知県	35	27
計	6,260	6,086

※第 1～3 四半期とは、1 月から 9 月のこと